

〈創造工学部〉

建築学科

■選考方法

書類審査、課題演習及び面接により、多面的かつ総合的に評価します。

(1)書類審査:提出された出願書類について審査を行います。

(2)課題演習:(120 分)

【造形課題】「立体作成、描写とその言語表現」

(三次元的な発想・構成力及び論理的な表現力をみるための造形課題)

以下の3つの課題全てを総合的に評価します。

①様々な素材(紙・粘土・金属・木等)を用いて簡単な立体を制作します。

②①で作成した作品のデッサンを行います。

③簡潔に、その立体作品の意味するところを文章に取りまとめます。

(課題の制作に必要な材料及び用具類は、本学が準備します。)

(3)面接:個人面接(10～15 分程度)

面接内容 ①課題の制作意図や主旨を面接担当教員に説明

②質疑応答

1 日目:課題演習(120 分)

2 日目:個人面接(10～15 分程度)

令和3（2021）年度 千葉工業大学 総合型(創造)選抜

創造工学部 建築学科 試験問題

試験時間 120 分

テーマ：「動」と「平衡」

針金(0.9mm×5m)が3袋あります。これを使った立体作品、タイトル、200字以内の説明文、スケッチを制作してください。

ただし、以下の7項目全てを満足することを条件とします。

1. 「動」と「平衡」2つのテーマを共に満たす立体作品であること。
2. 用意した針金の約2/3以上を使用すること。
3. 立体作品は、スチレンボード上に固定することによって、面接時に持ち運び可能なものとする。こと。
スチレンボードの右下に受験番号と氏名を記入してください。
4. 「動」と「平衡」をテーマに制作した立体作品の固有なタイトルをつけること。
5. 立体作品の制作意図を明確に示す 200字以内の説明文を記述すること。
箇条書きでも構いません。
6. 立体作品の制作意図を表現するスケッチを描くこと。
7. タイトル・200字以内の説明文・スケッチの計3点を、画用紙1枚にレイアウトをし、制作意図を明確に表現すること。
画用紙は、横使いと縦使いのどちらでもかまいません。
2枚の画用紙のうち1枚を提出すること。残りの1枚は自由に使用してよい。
提出の画用紙右下に受験番号と氏名を記入してください。

※ 針金は細く1本だけで自立させることが難しいものですが、数本を束ねて芯をつくってから別の針金を巻き付かせることで、丈夫な自立できるものになります。

針金を用意したカッターまたはラジオペンチの根元で切断可能です。ラジオペンチの先を使って容易に曲げることもできます。

受験番号

氏名

用意している材料・道具は下記のものです。

画用紙 A2 判 2 枚（横使い縦使いどちらでも可。このうちの 1 枚を提出）

鉛筆 2B、4B、6B 各 1 本

練りゴム

針金 3 袋

スチレンボード （作品の土台として使用）

ラジオペンチ

はさみ

カッター

鋼尺 30 センチ

カッティングマット

24 色の色鉛筆が 50 セットあります。必要に応じて申し出てください。

電動鉛筆削りを教室内に用意してありますので、自由に利用することができます。ただしその場合、必ず挙手をし、試験監督の許可をとってから利用するようにしてください。

以上